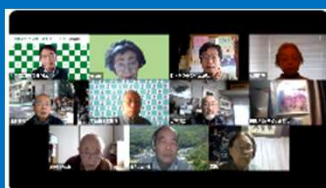


2020年度 (令和2年度) 年次報告書

特定非営利活動法人
京都地球温暖化防止府民会議
(京都府地球温暖化防止活動推進センター)



2021年6月

0 法人とセンター

● 私たちが目指すのは、「脱炭素型のステキな京都」です

2020年10月、日本もついに2050年に温室効果ガス排出を実質ゼロにする目標を掲げました。世界でも脱炭素社会への大きな歩みが始まっています。第五次環境基本計画に記されている通り、いま、新たな文明社会を目指す大きな発想の転換が求められています。

地球温暖化対策は、ともすれば「不便さや不快さを我慢するもの」、「経済活動に悪影響を与えるもの」と捉えられがちですが、実はそうではなく、健康、防災、産業振興、地域活性化など、様々な『一石二鳥』=コベネフィットをもたらすものと期待されています。

私たちは、「脱炭素型のステキな京都」の実現を目指し、様々な立場の方々との連携で活動を行っています。

Vision

脱炭素型のステキな京都

Mission

ビジョン実現に向け、各々の立場を活かして取り組む担い手を増やし、担い手同士をつなぐなどして、その活動を活性化すること

Action

- ①担い手のサポート
- ②モデル的な取組づくり
- ③対策の面的展開

● 法に基づき、府知事による指定を受けて活動しています

NPO法人京都地球温暖化防止府民会議は、2003年10月に、地球温暖化対策推進法に基づき京都府知事より京都府地球温暖化防止活動推進センターに指定されました。

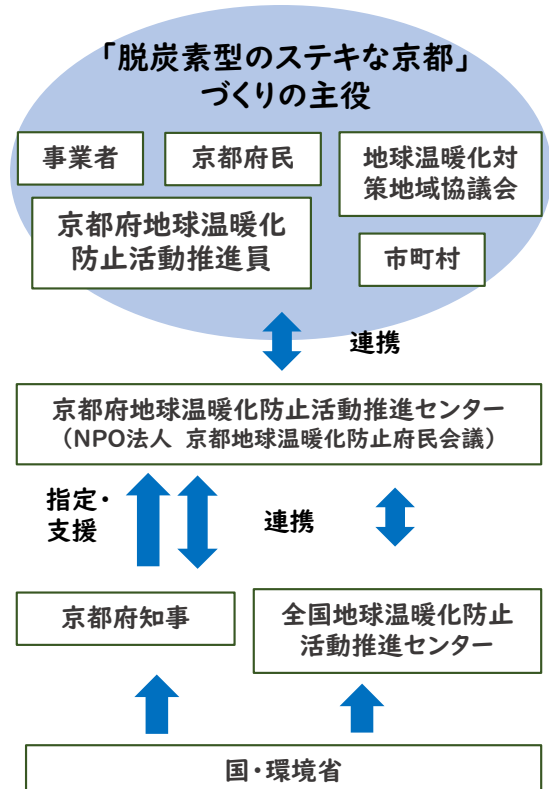
センターの指定は全国で18番目となり、**センター運営のための法人を新たに設立したのは、全国初の試み**でした。

京都府地球温暖化対策条例には、「府は、京都府地球温暖化防止活動推進センターが、地球温暖化対策を担う**中核的支援組織**として、事業者、府民及び環境保全活動団体の積極的な取組を促進する役割を果たすことができるよう、その支援に努めるものとする」と記載されています。

私たちは、環境保全のための1団体ではなく、府知事指定の中間支援組織として、皆様との連携のもとに活動をすすめています。

以降、本冊子では下記のように表記します。

京都府地球温暖化防止活動推進センター→センター
 京都府地球温暖化防止活動推進員→推進員
 地球温暖化対策地域協議会→地域協議会



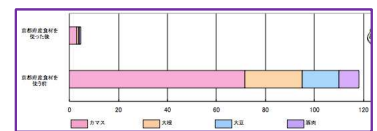
連携でモデル事例をつくる・広げる ～これまでの代表的活動～

「京のアジェンダ21フォーラム」の社会実験から始まった**家電製品省エネラベル**。センターは、市町村やNPO、推進員との連携で、これを京都府全域へ、そして全国へと拡大。資源エネルギー庁の委員会に委員を派遣し、現在の「統一省エネラベル」制度づくりに参画しました。

京都府の「**ウッドマイレージCO₂を組み込んだ京都府産木材認証制度**」に制度設計段階から参画。平成16年の制度立ち上げ以降、約4,400通の証明書を発行。のべCO₂削減量は5,000トンにも。京都府産木材利用の拡大と、木材輸送によるCO₂削減に取り組んできました。

KGPNや行政機関との連携で、学校給食や社員食堂での「**旬の京都府産食材**」の利用拡大キャンペーンを実施。一次産業の活性化と食材輸送によるCO₂削減に取り組んできました。フード・マイレージCO₂を計算したところ、90%以上削減された実績がいくつも確認されています。

私たちは、**京都を大切に作る取り組みで
気候変動対策を進めてきました。**



2020年度（令和2年度）の活動（本報告書の目次）

1. 地球温暖化防止府民活動推進事業……………P.3
2. 再生可能エネルギー普及支援事業……………P.7
3. 家庭のエコ推進事業……………P.9
4. 地域における地球温暖化防止活動促進事業……………P.11
5. その他……………P.14

府民活動推進

情報発信のサポート

貸出啓発グッズを整備し、推進員や教員の皆様にご活用いただきました。コロナ禍において、各地でイベントが中止される中、啓発グッズの貸出回数は44回。

啓発グッズ貸出回数 **44回**
貸出アイテム数 **のべ 401アイテム**



貸出啓発グッズの一覧や貸出方法は、
<https://www.kcfca.or.jp/tool/>

啓発グッズ 人気(貸し出し回数) トップ3

第1位



ソーラークッカー エコ作

第2位

手回し発電電球点灯キット
(複数人用)

第3位



発電学習キット

「めざせCO₂ゼロチャレンジ」で家族ぐるみの取組を促進

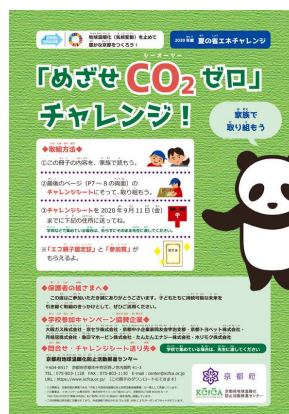
昨年度まで行ってきた「夏休み省エネチャレンジ」を「めざせCO₂ゼロチャレンジ」と名前を変えてリニューアル。2050年「CO₂排出ゼロ」の暮らしや地域をどのようなものにしたいか、またそれを実現するためには、自分は何になって、どんなことをしたいかを想像して絵や文章を書くという取組です。

基本の対象を4年生以上とし、参加世帯数は8,486世帯に上りました。

参加率の高い優秀校には、知事による表彰に加え、協賛企業の協力を得て環境教育教材を贈呈しました。また、参加者全員に参加賞として、脱炭素の社会を考える「めざせCO₂ゼロかるた」を作成・配布しました。

参加世帯数

8,486世帯



推進員活動の支援

研修会の開催、啓発資材の貸出、活動現場にうかがってのお手伝い、活動支援金のお支払いなど、様々な形で推進員の皆様の活動に関わらせていただきました。

推進員活動回数は、報告されたもの、かつ対外的な活動だけで1,078回に上りました。新型コロナの影響下でも多くの活動が様々な形で展開されていた結果です。その内容も啓発活動だけにとどまらず、脱炭素型の地域づくりの活動も、推進員の皆様によって各地で行われています。

推進員のべ活動件数 1,078回
報告されたものの中から、対外的な活動のみをカウント

推進員活動についてはこちら
<https://www.kcfca.or.jp/project/leaders/>



推進員活動回数一覧

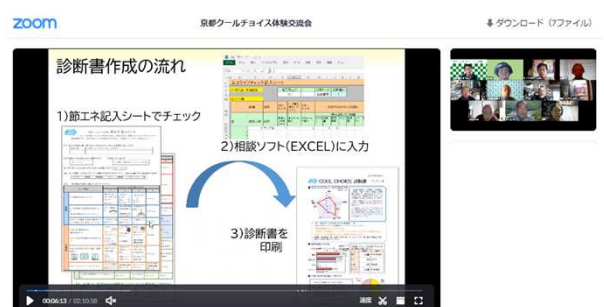
活動内容	件数
イベントでの啓発	183
子ども向け出前講座	177
メディアを使った情報発信	177
大人向け出前講座	88
家庭の省エネ相談・診断	73
みどりのカーテン普及	64
森林保全活動	58
事業所の省エネ相談・診断	16
その他(廃食油回収を含む)	242
合計	1,078

省エネ相談所・京都クールチョイス相談開催と経験交流会

令和2年度も、緊急事態宣言の出していない時期にコロナ対策をして京都市内で2回、宇治市で1回省エネ相談所・京都クールチョイス相談所を実施しました。(3回実施、受診者72名)また、京都市、京田辺市での実施を支援しました。

また、通常の省エネ相談の内容を行動変化中心の相談から機器の見直しを中心とした「京都クールチョイス相談」に変更して実施しました。

さらに、京都クールチョイス相談の相談員を増やす為に、京都クールチョイス相談シート紹介と経験交流会を企画し、ZOOMミーティングを利用して開催しました。(15名参加)



インターネット環境家計簿の改定

インターネット環境家計簿の大改訂をしました。金額の入力欄を追加するとともに、電気のCO2排出係数を手動で変更できるような機能を追加しました。また、スマホ画面対応を強化して、ユーザーの使いやすいサイトへとリニューアルしました。

スマホからも入力できます。
QRコードを読み取って
アクセスしてください。

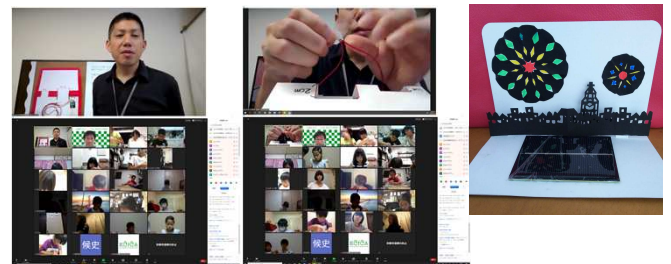


<https://kyoto216.com/kakeibo/>

金額欄を追加

けいはんなe²未来まなびパークを活用した再エネ学習教室

夏休みに子どもを対象でオンラインにて、再生可能エネルギーを学ぶ講義を実施し、施設の紹介動画を流して、その後ソーラーメロディーバスデーカードを作る体験教室を実施しました。4回実施して合計77名参加してくれました。講義と施設紹介動画はYouTubeへアップして視聴できるようにしました。

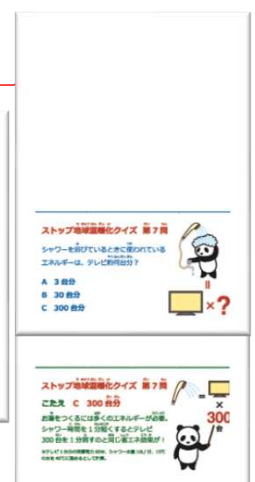


小学生向け気候変動啓発用メモ帳

子どもたちが年間を通して環境活動を行うための支援ツールとして、メモ帳を作成(5,000冊)。

クイズで学びながら楽しく気候変動を考えることができるようにしました。

メモ帳は「めざせCO₂ゼロチャレンジ」の優秀校の全学年に配布するとともに、啓発用ツールとして推進員や市町村担当者にご活用いただけるようにサンプルをそれぞれに配布しました。



住宅の断熱・気密PR冊子作成

住宅の断熱・気密をPRするための一般向けの啓発冊子「住宅の断熱・気密まるわかりBOOK」を作成しました。(5,000冊)

断熱と気密の説明はもちろん、高断熱高気密住宅に住むご家庭にインタビューを行い、その実体験をまとめて冊子にしました。同じ内容を掲載したWEBサイトも作成しました。



<https://danmitsu.kcfca.or.jp/>



「府民活動推進」の全体像と主な成果

<京都府委託 京都府地球温暖化防止府民活動促進事業>

相談窓口の設置

地球温暖化防止活動に関する情報提供（月1回 KCFCAニュース発行・年4回 うおーみんぐWEB版作成・案内チラシ合計9,000部発行）Webサイト運営（アクセス・リーチ数833,041件）

京都府地球温暖化防止活動推進員研修会の開催（7回）

推進員活動支援金の支給（活動支援金支払対象者：125人 推進員活動実績：1,078回）

環境教育教材を推進員・市町村等へ貸出（貸出回数：のべ44回 貸出アイテム数：のべ401個）

親子温暖化教室（小学校等での環境教育）（実施回数：12回、のべ参加者数：339人）

エコライフ推進（「めざせCO₂ゼロチャレンジ」8,486世帯 インターネット環境家計簿3,776人）

家庭の省エネ相談所の実施及び実施支援（回数：実施3回 参加者数：72人 支援2回）

相談員経験交流会開催

<京都府委託 けいはんなe2未来まなびパークでの講義及び体験学習運営業務>

けいはんなエネルギー教室の開催（ZOOMを利用して開催4回77名）

<京都府委託 小学生向け気候変動啓発業務>

子どもたちが年間を通して環境活動を行うための支援ツールとして、メモ帳を作成（5,000冊）。

<京都府委託 住まいの断・密力強化冊子作成業務>

一般向けに断熱・気密を伝え、断熱気密住宅居住者へのインタビューをまとめた冊子（5000冊）。

2 再エネ普及支援

● 京都再エネポータルサイトの運営

再エネ設備に関する情報、京都府内の市町村等による再エネ導入支援策に関する情報、京都再エネコンシェルジュに関する情報など、京都府内の一般家庭が再エネを導入するにあたり必要となる情報に、だれもが簡単にアクセスできることを目指し構築された「京都再エネポータルサイト」の運営を行いました。

<https://kyoto-saiene.net/>



● 京都再エネコンシェルジュのサポート

京都再エネコンシェルジュの活動をサポートするため、メーリングリストや京都再エネポータルサイトを利用した再生可能エネルギー関連の情報や研修情報を共有しました。

また、新たに京都再エネコンシェルジュ10名のインタビューを行って、取組の内容を「京都再エネポータルサイト」で紹介しました。

『京都再エネポータルサイト』インタビュー
<https://kyoto-saiene.net/interview/>



● オンラインイベントを開催

「2021 京都再エネわくわくオンラインフェア」
新型コロナウイルスの影響で商業店舗でのイベント実施ができなかった代わりに、京都再エネコンシェルジュをPRしながら、京都府内の再エネ普及を進めるためのオンラインイベントを開催しました。

基調講演、京都再エネコンシェルジュリレートーク、再エネバーチャル見学会、再エネクイズと工作を一連のイベントとして実施しました。



● 基調講演
「地域で広げる再生可能エネルギー」
豊田 陽介 氏(気候ネットワーク)

「2021 京都再エネ わくわく オンライン フェア」
基調講演、リレートーク、バーチャル見学会の内容は動画でご覧いただけます。

詳しくはサイトへ。
<https://kyoto-saiene.net/saienewakuwaku2021winter/>



参加者数 のべ198人

教えて！京都再エネコンシェルジュリレートーク

専門家でもある京都再エネコンシェルジュに各専門分野のお話をお聞きしました。



・太陽光発電を増やす
京都再エネコンシェルジュ 河村泰三さん(京都電工株式会社)



・太陽熱利用を増やす
京都再エネコンシェルジュ 山本晶三さん(KS(ケイズ)設計室 一級建築士事務所)



・薪・ペレットストーブを増やす
京都再エネコンシェルジュ 北田幹雄さん(株式会社ハートカントリー)

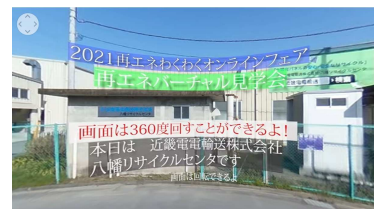
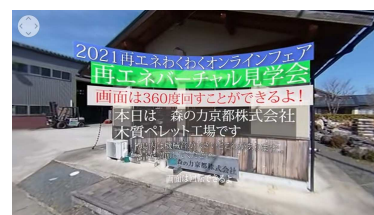


・インタビュアー 伊東真吾さん(一般社団法人 市民エネルギー京都)

再エネバーチャル見学会

京都府内にある再生可能エネルギー関連施設を
360度カメラを利用して取材し、映像化しました。

- ・ 木質ペレット工場(森の力京都株式会社 京都市京北)
- ・ 太陽光パネルリサイクル施設(近畿電電輸送株式会社八幡リサイクルセンター内)



クイズと工作で体験「再生可能エネルギーのひみつ」

クイズと工作で再生可能エネルギーを
考えるイベント実施。子どもから大人ま
で楽しめるオンラインイベントとなり、ク
イズ17名、工作14名参加となりました。



「再エネ普及支援」の全体像と主な成果

<京都府委託 京都再エネコンシェルジュ認証制度に係る支援、普及啓発業務>

住宅での再生可能エネルギー利用に関する情報整備と発信(京都再エネポータルサイトの運営)

再エネの専門家と連携した相談の受付体制構築と運営

インターネットを活用した一般向けへの再エネ普及啓発活動(1回 198名)

再エネコンシェルジュインタビュー(10件)

再エネバーチャル見学会(2か所、太陽光パネルリサイクル施設、木質ペレット工場)

再エネ工作教室(クイズ17名、工作14名)

3 家庭のエコ推進

● 家庭の省エネ診断（うちエコ診断）の実施

京都市の省エネ行動促進プログラム事業の一環で、家庭の省エネ診断（うちエコ診断）を実施しました。

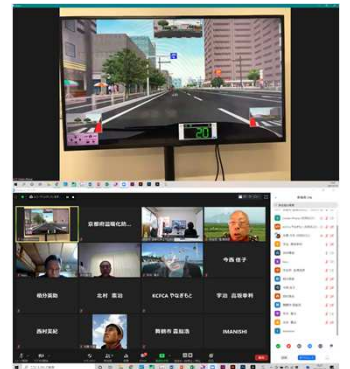
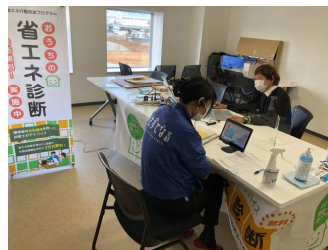
コロナ対策として、アンケート調査票にお答え頂いたものの、後日診断結果報告書を送付する形の書面診断を中心に実施しました。合計27学区と3イベントでアンケートに回答いただき、受診者は580名となりました。

そのうち受診者が5名以上の16学区については、その学区の分析を行いました。

学区ごとの分析と省エネの取組をまとめた家庭の省エネハンドブックを返送し、事後調査もしました。CO₂削減量333t-CO₂、削減率は受診者全体の15%でした。

（※削減量は実測値ではなく、診断後の取組内容からのみなし量です）

加えて、診断士のスキルアップのための研修会を、ZOOMを利用して実施しました。

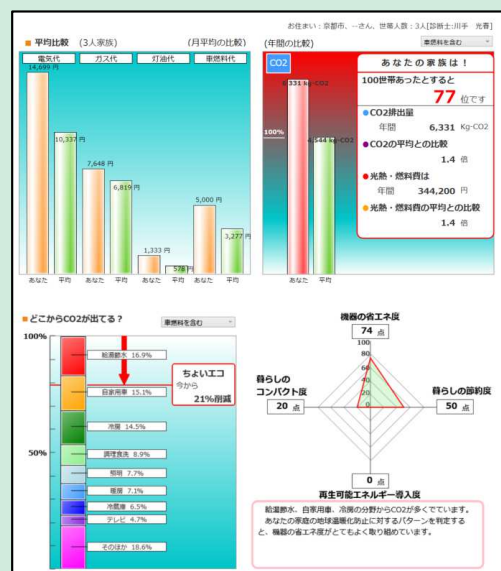
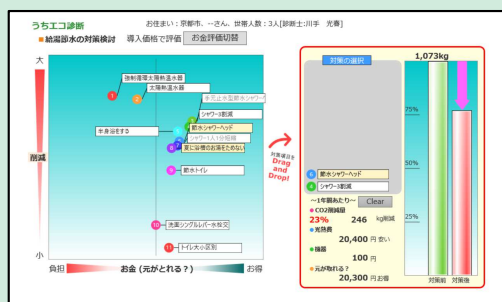


うちエコ診断件数 **580件**
 みなし削減量 **333t-CO₂**

うちエコ診断とは

家庭のエネルギー消費量や設備機器利用状況をもとに、専用のアプリケーションをもちいて、環境省の公的資格である「うちエコ診断士」が、家庭の省エネ診断を行うものです。

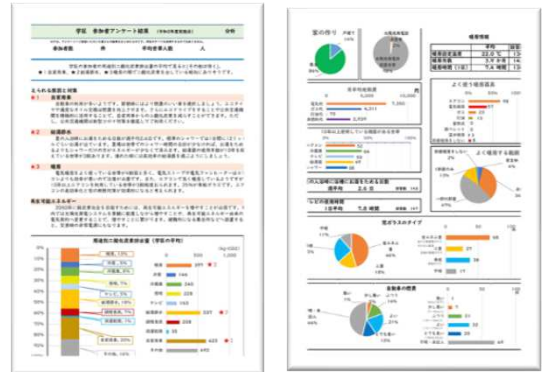
「一般的な呼びかけ」ではなく、「一つひとつの家庭にピッタリの取組を一緒に考える」点が特徴です。



● 家庭の省エネ診断実施後の「学区の分析」

家庭の省エネ診断の受診者が5名以上の16学区については、その学区の分析を行いました。学区の平均で、家庭のどこから二酸化炭素が多く排出されているのか上位3位までを、グラフと共に分かりやすく明示しました。

さらに、排出の上位に入り込んでくることの多い分野の情報である、暖房関連の情報、自動車の情報などをピックアップして、グラフとともに分析結果を掲載しました。



● 学区独自の「家庭の省エネハンドブック」の送付

過去のうちエコ診断の分析から、二酸化炭素排出量の多い分野の省エネポイントを、家庭の省エネハンドブックとしてまとめました。16学区とも、学区の分析結果から用途別二酸化炭素排出量の上位3位までをピックアップし、冊子中の対応するページを記載したシールを表紙に貼って、その学区独自の「家庭の省エネハンドブック」にし、受診者全員(580世帯)に送付しました。学区の回覧板で回したいとお申出があったため、5学区で8,550世帯へ回覧していただきました。うち4学区は全戸回覧でした。

家庭の省エネハンドブック 回覧：8,550世帯



「家庭のエコ推進」の全体像と主な成果

<京都市委託 省エネ行動促進プログラム実施業務>

うちエコ診断士28名を対象に計2回の研修会を実施。

31学区と3イベントで家庭の省エネ診断(うちエコ診断)の調査票を配布し、27学区と3イベントで合計580件の診断を実施。

返送いただいた事後調査票270件の分析の結果、333トンのCO₂削減を確認。

(削減率は受診者全体の排出量の15%、事後調査票返送者だけの排出量では31.3%に相当)

学区の分析(16学区)と省エネの取組をまとめた家庭の省エネハンドブックを作成し、受診者全員(580世帯)に配布。

家庭の省エネハンドブックは、5学区で8,550世帯へ回覧。うち4学区は全戸回覧。

4

地域における活動促進

●【SNS活用】温暖化関連トピックスの発信

京都の情報を含めた気候変動（地球温暖化）に関するトピックスを、アイキャッチ画像と共にSNS（Facebook・Twitter・Instagram）にて発信しました。複数のSNSを使うことで、様々な年代の方にアプローチをして、情報のシェアがしやすいように、また旬の情報を取り入れて提供しました。

Facebook・Twitter・
Instagramリーチ数
のべ約8万回



● パネル等教材作成

2050年実質ゼロを伝えるパネルやチラシを作成しました。今後、貸出教材として活用します。



←チラシ ↑パネル

● 連絡調整会議

地域団体や市町村担当者、事業者団体等による連絡調整会議を2回開催。「グリーンリカバリー」や「札幌市気候市民会議」に関する情報を共有し、意見交換を行いました。

● 地域協議会等と連携した学習会

地域協議会や推進員、地域団体等が主催する学習会について、講師派遣やweb学習会実施の支援などを行いました。

● 動画配信

主に小学4～6年生を対象として、温暖化問題全般についてと実質ゼロに向けた取り組みについて分かりやすく解説・紹介した動画を3本作成しました。動画時間が長いと最後まで見てもらいづらいため、15分程度を目安にし、クイズや実験なども交え、見て楽しく感じられるように工夫しました。内容は京都府「めざせCO2ゼロチャレンジ」と連動しています。夏休み期間に合わせて、温暖化問題に関係する自由研究の参考となる動画2本も作成しました。

5つの動画でのべ3,000人以上の方に視聴いただきました。

- これだけは知ってほしい温暖化の話（めざせCO2ゼロチャレンジP.2.3説明・地球温暖化の基礎の説明・子ども向け）



YouTube動画
のべ視聴者数約3,300人

● 家電買替えキャンペーン京都府連携事業

「おいしい京都、当たります♪」省エネ家電買替えキャンペーンを、京都府と当センター共催で実施しました。

このキャンペーンは、省エネ家電へ更新をした方へ京都の食べ物をプレゼントすることで、地球温暖化対策のための家庭の省エネと、地産地消による京都の一次産業を応援することを目的にしたものです。

10年以上使用した冷蔵庫を省エネ型へ更新することや、不要な冷蔵庫の適正処分、省エネ型の照明器具(LEDシーリングライト)への更新を呼び掛けました。



【実施期間】2020年9月1日～2021年1月31日

省エネ型冷蔵庫への更新
204台

不要な2台目・3台目冷蔵庫
の適正処分

22台

LEDシーリングライトへの更新
158台

省エネ型冷蔵庫(5つ星)への
買替え宣言

51人



●省エネ家電更新…京都府電機商業組合や大手家電流通協会に協力いただき、府内の多くの家電店にて省エネ家電への買替えが呼びかけられました。

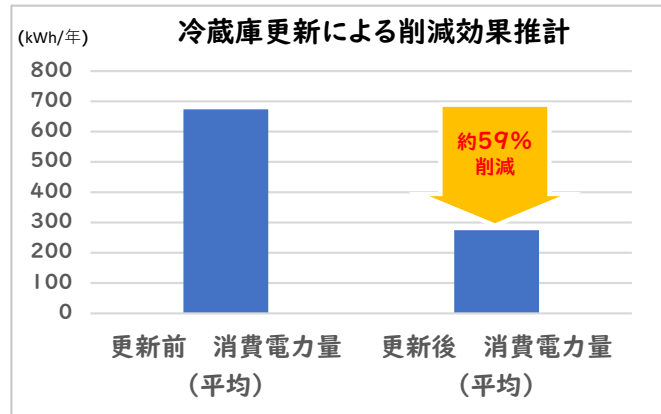
●地産地消…京のおもてなし協議会の協力により、京都の野菜・肉・お米等の特産品セットや、京の食材を使った料理を提供する店舗等で使用できる商品券をプレゼント。地産地消の食べ物を選択することが、フード・マイレージCO₂の削減や、地元の一次産業の活性化につながることを啓発し、同時にコロナ禍で影響を受けている飲食店への支援へとつなげました。環境分野以外の団体と連携できたことも、本事業の大きな成果となりました。

●再配達削減…コロナ禍で宅配サービスの利用が増えていることを受けて、再配達削減をすることのメリットをPRする機会としました。

● 家電買替えキャンペーンCO₂削減効果

更新前の冷蔵庫の消費電力量（平均）と、省エネ型冷蔵庫へ更新した後の消費電力量（平均）を比べると、**約59%削減**されていることがわかりました。

キャンペーンによるCO₂削減効果は、更新された冷蔵庫で約26.5t-CO₂/年、適正処分された冷蔵庫で約4.9t-CO₂/年となり、合計すると約31t-CO₂/年になりました。



省エネ型冷蔵庫への更新によるCO₂削減効果の推計
約26.5t-CO₂/年

不要な冷蔵庫の適正処分によるCO₂削減効果の推計
約4.9t-CO₂/年

「地域における活動促進」の全体像と主な成果

<地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省補助・地球温暖化防止全国ネット）>

SNSでの情報発信（Facebookリーチ数約8万、ページいいね増加）。

動画配信（約3,300回再生）。

パネル等教材作成。

地域協議会等と連携した学習会（学習会5回開催うち3回はオンライン実施）。

京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議を2回開催。

<家電買替えキャンペーン京都府連携事業>

京都府と共催。京都府電機商業組合、大手家電流通協会、おもてなし協議会（JA全農京都）と連携。冷蔵庫買替204台（カタログ値の消費電力量平均約59%削減）、2台目冷蔵庫廃止22台、LED設置158か所、冷蔵庫買替宣言51名。省エネ性能を「強く」重視する人の増加。

● 講師・委員派遣等（主なものを抽出して掲載）

委員・役員等

<京都府>

- ・地球温暖化対策プラン（府庁の省エネ・創エネ実行プラン）検討会議委員
- ・住まいの断・密力強化方策研究会委員
- ・再生可能エネルギー導入促進プラン検討委員
- ・京都丹波スマート環境推進プラットフォーム検討会
- ・京都環境フェスティバル実行委員会委員・監事

<国・環境省近畿地方事務所>

- ・近畿地域エネルギー温暖化対策推進会議
- ・気候変動適応近畿広域協議会委員
- ・適応啓発コミュニケーションツール検討会

<市町村>

- ・長岡京市 生活環境審議会委員
- ・京丹後市 美しいふるさとづくり審議会委員
- ・木津川市 環境審議会委員
- ・宮津市 環境基本計画策定委員会委員
- ・与謝野町 地球温暖化対策実行計画区域施策編策定アドバイザー

<団体等>

- ・公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 事業運営委員
- ・京のアジェンダ21フォーラム 幹事
- ・（一社）地球温暖化防止全国ネット 理事
- ・KGPN 常任幹事・通販省エネ表示検討部会委員

講師派遣（講演会・研修・事例報告等）

<京都府>

5/16 京都府等「高校生気候行動サミット」講師

<市町村>

10/31 長岡京市「環境フェア」ラジオ出演
11/23 精華町「再エネ工作教室」講師
12/19 京丹後市「再エネ・温暖化教室」講師

<他府県等>

6/22 全国地球温暖化防止活動推進センター
研修会講師

<団体等>

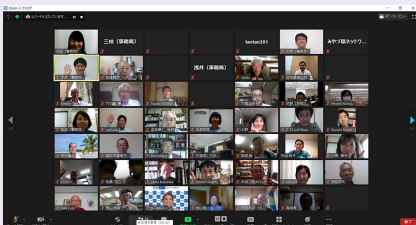
6/15 同志社大学「消費者問題2020」ゲスト講師
9/18 FM845家電買換えワークショップ
11/17 みやづ輪ネットワーク「市民講演会」講師
11/29 気候ネットワーク「気候サミット2020」講師
12/1 丹後の豊かな環境づくり推進会議 学習会講師
1/22 京都生協北ブロック環境学習会講師
1/24 気候ネットワーク「GOTO脱炭素セミナー」講師
1/24 京エコロジーセンター環境学習ボランティア
学習会 講師

大学の講義への貢献

立命館大学産業社会学部「子どもと地球環境」（授業担当講師）
立命館大学 法・国際関係学部「現代環境論」（授業担当講師）
龍谷大学政策学研究科「環境課題分析研究」（非常勤講師）

企業と連携して支援

協定を結んでいる「たんたんエネルギー株式会社」と連携して脱炭素を目指す自治体・企業の支援を行いました。



法人総会

2020年6月18日NPO法人総会と総会関連セミナーをZOOMで開催。基調講演「人はなぜ、気候変動が重要課題だと『頭』ではわかっているのに『心』が受け入れられないのか」参加者約70名。総会参加者45名。

ご寄付・賛助会員・協賛の募集

京都府地球温暖化防止活動推進センターは「NPO法人 京都地球温暖化防止府民会議」が運営しています。当法人の活動は、皆様からのご支援によって支えられています。寄付・賛助会員・協賛を募集しておりますので、ぜひご検討ください。

(1) ご寄付

団体を強くそして活発にしていくために、ぜひともご寄付をお願いいたします。お預かりした寄付金は、脱炭素社会づくりのために活用させていただきます。差し支えなければ、ご寄付いただいた個人・団体・企業様のお名前をホームページにてご紹介させていただきます。

(2) 賛助会員

賛助会員を募集しております。1口1万円から何口でもご指定いただけます。

(3) 協賛

バナー広告掲出による協賛を募集しています。ホームページ下方の会社・団体様のバナー（240ピクセル×160ピクセル）掲出料をお支払いいただく形での協賛をお願いいたします。バナー広告料は、月額1万円（税抜）とし、年度はじめに、年度単位で掲出及び請求をさせていただきます（年度途中からの掲出の場合は月割計算）。主旨にご賛同いただき、活動を支えていただければ幸いです。

また、企業・団体様独自の基準を決めていただきご協賛していただくことも大歓迎です。詳しくはお問い合わせください。

詳しくは <https://www.kcfca.or.jp/support/> ⇒



情報をお届けします。ぜひご活用ください。



ウェブサイト。
ぜひご覧ください。
貸出啓発グッズの一覧もこちらから。



メールニュース登録「KCFCAニュース」
webwarming+subscribe@kcfca.or.jp に
空メールをすると、返信がくるので、さらにその
メールに返信するか、そのメールの文中の「この
グループに参加」をクリックすると自動で登録で
きます。



Twitter



LINE



Facebook



Instagram



YouTube

よりリアルタイムに多くの情報をお届けするためオンラインとSNSを活用しています。
ぜひご登録ください。



特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議
(京都府地球温暖化防止活動推進センター)

〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町41番3
TEL:075-803-1128(代) FAX:075-803-1130
E-mail:center@kcfca.or.jp URL:<https://www.kcfca.or.jp>